

平成 20 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「功労賞」



中 島 紀恵子（なかじま きえこ）

日本看護協会看護教育研究センター

【授賞理由】

中島氏が長年にわたる認知症高齢者等のケアに関する研究の推進やケア技術に対する教育さらに社会啓発活動への取り組みは、質の高いケアを実現し認知症高齢者および介護者の生活の質の向上に大きな影響を与えました。

これらの活動は、認知症ケア賞（功労賞）受賞が相応しいといえます。

【略歴】

1958年 4月～1966年 5月	北海道浦河保健所（1962）北海道池田保健所
1966年 6月～1971年 5月	大阪府立公衆衛生学院専任教員
1971年 6月～1987年 5月	千葉大学教育学部講師、看護学部助教授
1987年 4月～2002年 5月	日本社会事業大学（1993）教授～北海道医療大学教授
2002年 4月～2008年 3月	新潟県立看護大学教授・学長

【業績および功績】

1985年より始まった認知症高齢者ケア、介護家族ケア及び専門的従事者のケアの質向上等の研究はいつも何かと何かを関係づけるといった実践的作業を伴って進めてきた。それは時代の要請を先取りする形で進められることが多かったために結果として政策的課題にコミットしたものもある。

業績は大きく 3 つに分類できる。第 1 は認知症高齢者介護家族の介護状況に実像に近づくこと、第 2 は認知症高齢者の「ケアの場」における状態変化と認知症高齢者自身もつエンパワーメント力を明らかにすること。第 3 は高齢者看護、介護の人材養成のデザインとそれに適した教材としての教科書作りである。

【学会活動等の功績】

日本認知症ケア学会理事 2003年～

日本老年看護学会理事長 2001年～

1. 日本老年看護学会 第 1 回大会（千葉）1996年 11月「会長講演：老年看護における人権の位置づけ」
2. 日本老年社会科学学会 第 42 回大会（札幌）2000年 7月「大会長講演：看護と介護を問い直す」

3. 日本痴呆ケア学会 第3回公開講座（新潟市）2002年9月「痴呆ケアのなかに生かさせる人材」
4. 日本痴呆ケア学会 第5回大会（新潟）2004年9月「大会長講演：グループホームに込められたケアの革新性」
5. 国際アルツハイマー病協会（ADI）第20回国際会議（京都）2004年10月 ADI 企画委員及びプログラム委員「痴呆の人を支える社会的ネットワーク（シンポジスト）」「痴呆ケアの質保証のための住環境改善への挑戦（ワークショップ）」
6. 認知症ケア学会 第3回国際セミナー（東京）2005年11月「認知症看護と行動障害（総括講演）」
7. 第7回日本認知症ケア学会（札幌市）2006年9月（リレー講演）「認知症ケアと環境～介護にロマンとユーモアを～」

【社会活動に関する功績】

1. 認知症高齢者介護家族の自立支援に関する事項
 - 1) 電話相談，1980年10月～1989年の間，認知症高齢者家族に24時間対応の相談を千葉大学中島研究室にて行う。
 - 2) 新聞連載の形式をもつ紙上相談，1984年3月より1年間，毎日新聞社が対象，週1回連載し介護家族のケアリングに貢献。
 - 3) 認知症の人の家族の会（2006年6月名称変更．以下「家族の会」）作りと支援，1980年10月，電話相談のメンバーを主とする11名によって千葉県の「会」を結成．1995年まで顧問。
 - 4) デイケアルーム「稲毛ホワイエ」開設．1987年10月，千葉市．1995年まで運営協力。
 - 5) 1990年以降今日まで，全国組織「家族の会」理事の1人として運営や調査及び啓蒙活動に参画。
2. 政策・行政及び民間機関の事業への参画
 - 1) 痴呆性老人対策本部専門委員（1987～1989年）
 - 2) 介護休業制度作り委員会委員（1989～1990年）
 - 3) 社会保障制度審議会臨時委員 介護保険制度導入についての資料提出（1991年～1994年）
 - 4) 神奈川県，及び横浜市，東京都，及び墨田区，千葉県市川市における保健福祉施策作りに関連する委員（1987～1994年）
 - 5) その他 ぼけ予防協会評議委員（1990年～現在）として諸々の調査研究に参画．2000年6月感謝状。
3. 専門資格制度作りとその教育
 - 1) 認知症ケア学会認可による認知症ケア専門士の認定と教育に関すること（2005年～）
 - 2) 日本老年看護学会が日本看護協会認可による認知症看護認定看護師に関すること（2005年～）の教育。

【認知症ケアに関する教育研究の主たる業績】

(著書)

1. ぼけー理解と看護ー (1983 年 8 月), 中島紀恵子, 石川民雄共著, 時事通信社, 実用性の高い啓蒙書として企画した最初の看護本.
2. 老人看護学 (1986 年 7 月/1992 年 1 月改訂), 誠興交易医書出版部, 老人看護の学体系化を目指した教育・指導書としたわが国最初の書. (編著者) 大友英一, 中島紀恵子
3. 系統看護学講座 23 老人看護学 (1987 年 1 月), 医学書院, 看護基礎教育における老人看護の最初に出版された教科書. 編集責任者として 1987 年以降今日まで第 6 版を重ねている.
4. 実践看護技術学習支援テキストー老年看護学 (2002 年 5 月/2006 年 6 月改訂), 日本看護協会出版会 (要旨)「技術の自己点検」になる教科書として, まだビデオ 4 巻を教材として作成. (監修) 中島紀恵子
5. 痴呆ケア標準テキストー痴呆ケアの基礎ー日本痴呆ケア学会 (2004 年 6 月/2005 年 9 月改訂), (株) ワールドプランニング, 日本痴呆ケア学会が認定する痴呆ケア専門士のための自己学習書. 痴呆ケアの基礎 I 医療・福祉のチームケア, II 家族支援の役割
6. 新・痴呆性高齢者の理解とケアーold culture から new culture への視点ー (2004 年 9 月), (株) メディカルビュー社 第 9 章 痴呆性高齢者とユニットケア〜グループホームを中心に〜, 在宅型介護サービス利用家族への支援, (監修) 江草安彦
7. 認知症高齢者の看護 (2007 年 4 月), 医歯薬出版, 認知症高齢者看護認定看護師及びターミナルケアを含む短期・長期型療養施設の看護師に必要な専門的能力の強化を目的として企画. (責任編集) 中島紀恵子